

楽しく歌やじゃんけん

こころの里まつりで交流



精神障害者の地域活動支援センター・こころの里（宇野）で5日、恒例の「こころの里まつり」が開かれた。施設の利用者、地元住民、ボランティアら約100人が、歌やダンス、飲食などで交流を深めた。

カラオケ大会が始まり、○×クイズやじゃんけん大会では、会場が一体となって盛り上がった。玉野高ダンス部の若さあふれるパフォーマンス、玉野フォークダンスクラブのメンバーがリードするフオークダンスも好評だった。

「アらが運営するカレーばいどいいね」と話し、ライス、おでん、お好み焼きなどの出店が並び、盛況だった。利用者50代男性は「好天の下で大勢の人と触れ合うことができ楽しかった。特に高校生の演技は元気いっぱい」（角南邦彦）

こころの里は2001年10月、旧玉野地域保健福祉センター跡にオープン。まつりは開所記念行事として毎年開かれている。

（角南邦彦）

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。